

2. 火山の概況 (平成 15 年 10 月 9 日 ~ 平成 15 年 10 月 15 日)

樽前山では山頂部浅部の熱的な活動がやや活発であった。浅間山では地震がやや多い状態が続いた。三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。阿蘇山では中岳第一火口の浅部の熱的な活動が活発であった。桜島、諏訪之瀬島では噴火が発生した。

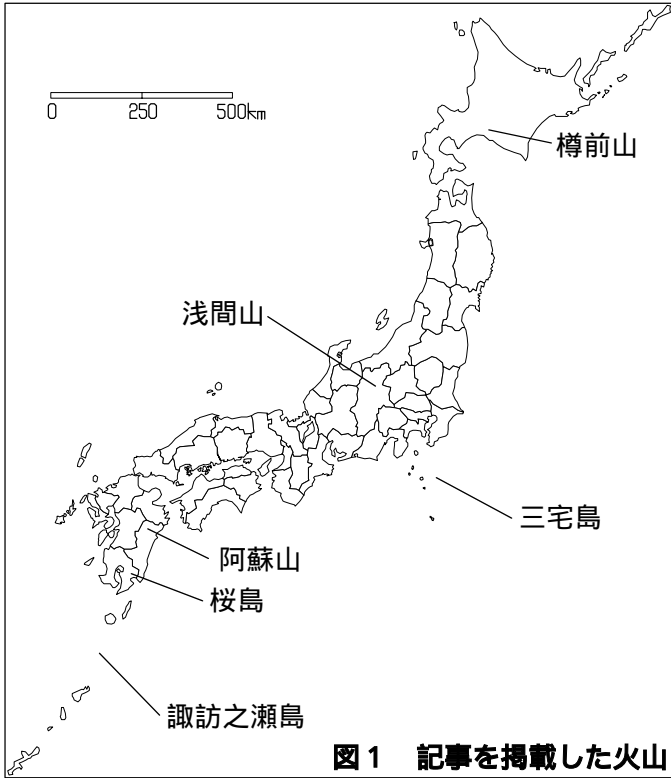


図 1 記事を掲載した火山

表 1 最近 1 か月に記事を記載した火山

号	対象期間	樽前山	浅間山	富士山	伊豆大島	三宅島	阿蘇山	桜島	薩摩硫黄島	諏訪之瀬島
42	10/ 9-10/15									
41	10/ 2-10/ 8									
40	9/25-10/ 1									
39	9/18- 9/24									
38	9/11- 9/17									

注 1 記号の意味

- ：噴火した火山
- ：観測データ等に变化があった火山
- ：前期間までに掲載した火山の、その後の状況等

注 2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ項目を示す。

樽前山 [熱]

9日、15日の夜間に、高感度カメラでドーム南西噴気孔群（B噴気孔群）が明るく見える現象を引き続き観測した。なお、明るく見える部分（高温域）の面積の拡大や、明るさが増す等の様子は認められなかった。

なお、地震活動及び地殻変動には異常な変化はなかった。

浅間山 [地震・微動・熱]

6月末頃からやや多く観測されるようになった振幅の小さい地震は、今期間もやや多い状態が継続しており、1日当たり54～82回観測された。また、振幅の小さい微動は9日、15日に各1回、計2回観測された（前期間は1回）。

噴煙の状況は山頂部が雲に覆われて観測できない日が多かったが、9日、15日には白色噴煙が火口縁上300mまで上がっているのが、山麓の監視カメラで観測された。

群馬県林務部が火口縁に設置している赤外カメラでは、火口底で引き続き高温部が観測された。

三宅島 [火山ガス・地震・空振・噴煙]

15日に気象庁が行った火山ガス観測¹⁾では、二酸化硫黄の放出量は日量3,100～6,100トンと、長期的には低下傾向がみられるものの依然多い状態であった（図2）。また、同時に気象庁と大学合同観測班が行った上空からの観測¹⁾では、火山ガスを含む青白い噴煙が東側山麓を流下していた。山体の地形や火口の状況等に大きな変化はなかった。赤外カメラによる観測では、火口内の最高温度は220であった（前回（9月30日）215）。

ごく弱い空振を伴う低周波地震が、11～13日に各1回、計3回発生した。なお、これらの地震と空

振に伴う噴煙活動の変化は雲のため不明であったが、その後、特に火山活動の活発化等は見られていない。一方、振幅の小さいやや低周波の地震の回数は、1日あたり1～25回と落ち着いた状態で推移した。

噴煙の状況は山頂部が雲に覆われてほとんど観測できなかったが、15日には白色噴煙が最高で火口縁上300mまで上がるのが監視カメラで観測された。

GPSによる地殻変動観測では、三宅島の収縮を示していた地殻変動は収まっている。

1) 警視庁の協力による

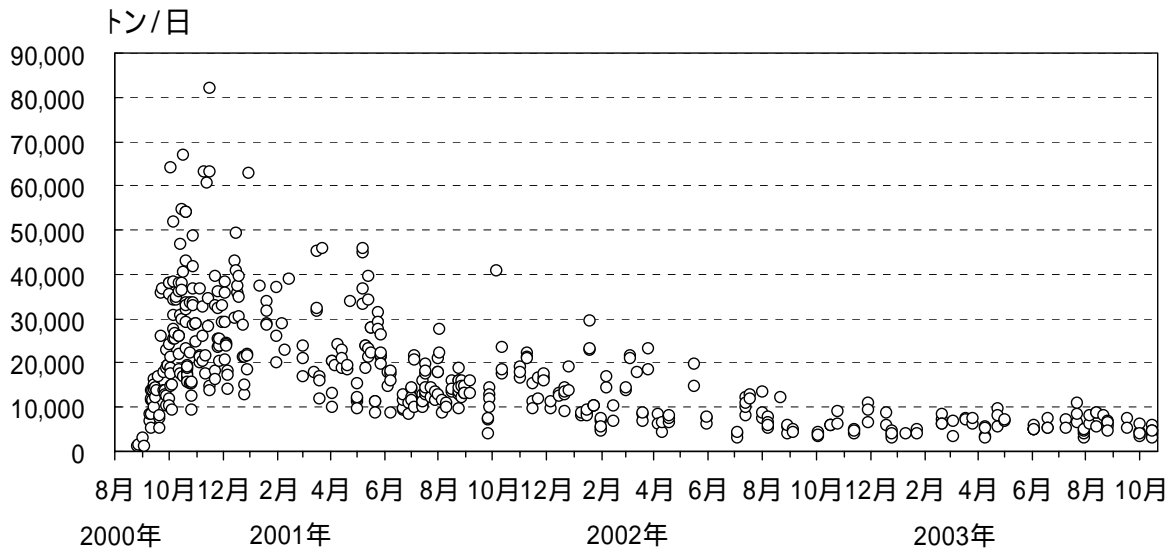


図2 三宅島 二酸化硫黄放出量の推移(2000年8月26日～2003年10月15日)

阿蘇山 [熱・地震・微動]

中岳第一火口の浅部の熱的な活動が活発で、孤立型微動と地震がやや多い状態で推移した。

中岳第一火口内の状況は、10日に実施した現地観測によると、湯だまりの色は緑色で、灰色の浮遊物があり、中央部の2か所で噴湯現象が確認された。湯量は約7割で減少傾向が続いている。湯だまり表面の温度は80と依然高い状態が続いている(前回の観測時(3日)は76)。南側火口壁の温度も395と高い状態であった(前回の観測時は401)。

噴煙の状況は、少量の白色噴煙が連続的に噴出しており、最高は火口縁上500mであった(前期間の最高は火口縁上600m)。

孤立型微動は、今期間の発生回数が1,037回で、前期間(1,419回)と比べて減少した。B型地震についても、今期間の発生回数は414回で、前期間(527回)よりやや減少した。A型地震の回数、地殻変動等の観測データには特に変化はなかった。

桜島 [爆発・降灰]

期間中、1回の噴火があり、爆発であった(前期間噴火1回、爆発はなし)。

鹿児島地方気象台(南岳の西南西約11km)における降灰日数は計1日、降灰量は0.5g/m²未満であった(前期間は降灰なし)。

諏訪之瀬島 [爆発・噴煙・微動]

9、10日に爆発が発生した。10日の爆発に伴い、火山灰を含む灰色の噴煙が火口縁上1,000mまで上がるのを観測した。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、今期間は島内の集落(御岳の南南西約4km)で降灰は確認されなかった。

また、連続微動が9～14日にかけて発生した。

表 2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第 560 号 (1 日 2 回発表)	9 日 09:30	活動経過ほか(噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)。
	火山観測情報第 573 号	15 日 16:30	
阿蘇山	火山観測情報第 21 号	10 日 14:00	火山活動がやや活発(孤立型微動・地震が引き続き多い状態)。